

# 周防大島町の話題



▲大島文化センターで行われた報告会の様子

## カウアイ島での経験を糧に

8月30日、大島文化センターにおいて、8月7日から20日までの2週間、ハワイ州カウアイ島で語学留学を行った生徒がその体験を報告しました。

生徒たちは、ハワイ大学カウアイコミュニティカレッジでの座学による英語講座のほか、植物園や博物館などへのフィールドスタディ、地元住民との交流や現地での生活などの体験について、英語と日本語で報告するとともに、この経験を基に、これからの目標や夢についても語りました。

## 山口大島みかん出荷はじまる

山口県のみかん生産量の80%以上を占める周防大島。9月21日には、山口大島みかんの初出荷発式がJ A山口県周防大島柑橘選果場にて行われました。

令和5年産は、夏季の高温の中での防除や摘果作業などの生産者の努力と台風や大雨等による被害もなかったこともあり、平年より甘く酸味の少ない、ここ5年で一番の仕上がり。

山口大島みかんは、県内をはじめ、京浜、長野、福岡の市場に向けて出荷されます。



▲選果の様子



▲開所式でのテープカットの様子

## 沖家室シーサイドキャンプ場開所

9月24日、沖家室シーサイドキャンプ場の開所式が行われ、村岡県知事、柳居県議会議長、藤本町長、関係者や地域の方などが出席し、完成を祝いました。

このキャンプ場は、旧沖家室中学校グラウンド跡地に造成されたもので、瀬戸内海のそばで海の風を肌で感じ、日常を忘れてゆっくりと静かに過ごすことや、キャンプ場でのイベントなどを通じて地域との交流を楽しめることが魅力です。

藤本町長は、「白木半島地域をはじめとする瀬戸内海の自然環境の魅力を発信するとともに、施設の使用を通じた地域と都市との交流の促進を図ることにより、地域のにぎわいを創出し、ひいては白木半島のにぎわいが、周防大島町全体に広がることを確信しております」と話しました。



▲開所を祝って行われた餅まきの様子